転入した子育て世帯をサポート
子育て応援訪問が始まりました

ID1006526

本市では「安心して子どもを産み育てられるまち」を目指しています。

引っ越してきたばかりの子育ては、「困ったときはどこに相談に行けばよいのかな？」「もしも子どもが病気になったら、どこの病院にかかったらいいの？」「安心して遊べる場所は？」など不安がいっぱいです。

そこで、本市へ転入された小学生までのお子さんのいる家庭へ、子育てコンシェルジュとママサポーターが一緒に訪問します。子育て情報をお伝えしたり、子育ての不安や悩みをお聞きしたりしながら、気軽に相談できる窓口や遊び場を知ってもらい、安心した子育てにつながるよう応援します。

親子交流館「すくっと」がある「ララグラン」の飲食店で利用できるサービス券などのちょっとしたプレゼントを持って、訪問します。

子育てに関するどんな相談でも大丈夫です。この機会にお気軽にご相談ください。

▼親子交流館すくっと☎23-1510

▲【写真上】子育て世代包括支援センターの子育てコンシェルジュとママサポーター
【写真左下】訪問の様子
【写真右下】子育て応援訪問の際にお持ちするサービス券の付いたチラシ

南三陸町から
復興支援に感謝状

東日本大震災の津波で被災した宮城県南三陸町の佐藤仁町長が、復興支援への感謝を伝えるため、本市へ来訪されました。

佐藤町長から山下市長へ感謝状と南三陸の切り紙細工「きりこ」の技法で南三陸杉を彫り込んで作られた盾が贈呈されました。

本市は、震災直後の平成23年度から毎年職員を派遣し、24年度からは3カ月～1年の長期で職員を派遣してきました。

本市の職員は、震災直後の被害調査や消防による緊急援助隊の出動から公営住宅管理や戸籍・税務に関する事務など、さまざまな分野で復興支援に携わってきました。

震災から8年半が経ち、復興事業で整備された市街地などをぜひ見に来てほしいと佐藤町長は述べました。

佐藤町長は、派遣された職員一人一人と握手を交わし、感謝の言葉を伝えてくださいました。

▼人事課☎23-7404

▲【写真上】感謝状を読み上げる佐藤町長と受け取る山下市長【写真中】（前列左から）山下市長、佐藤町長、鈴木副市長（後列）、派遣された職員【写真下】南三陸町から贈呈された盾